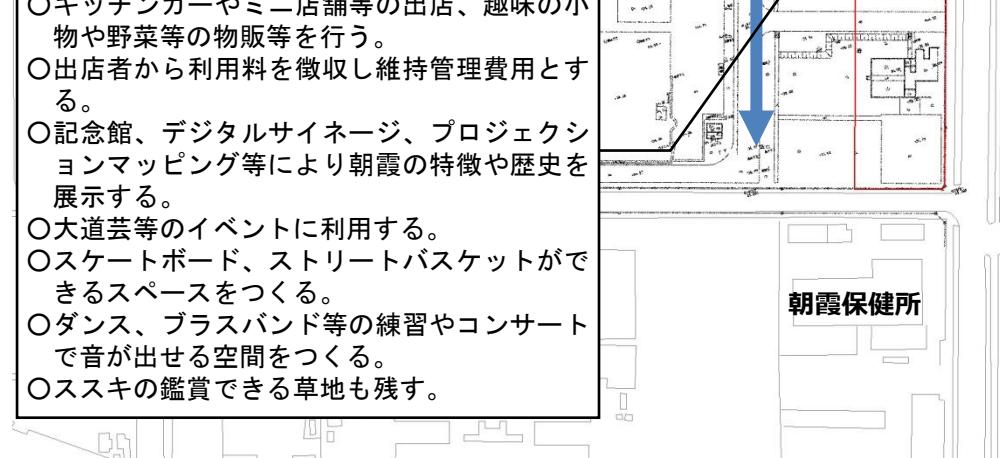
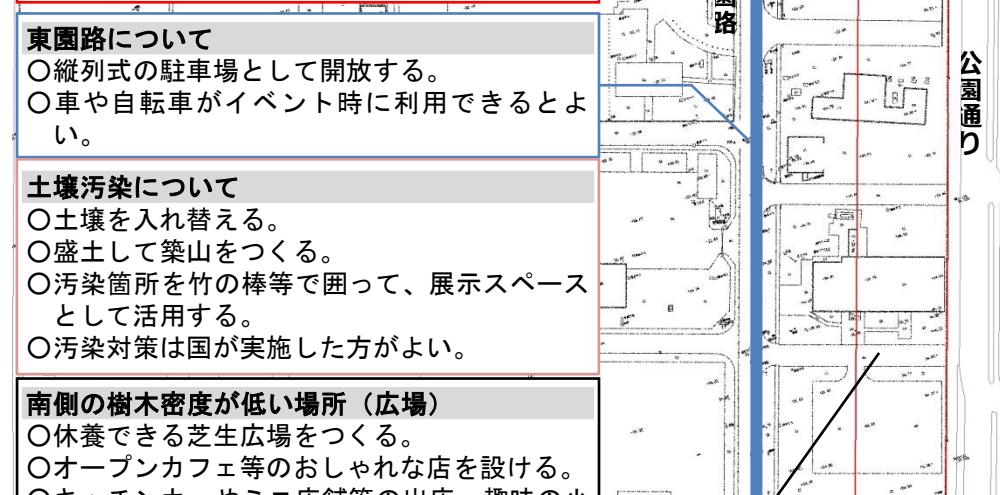
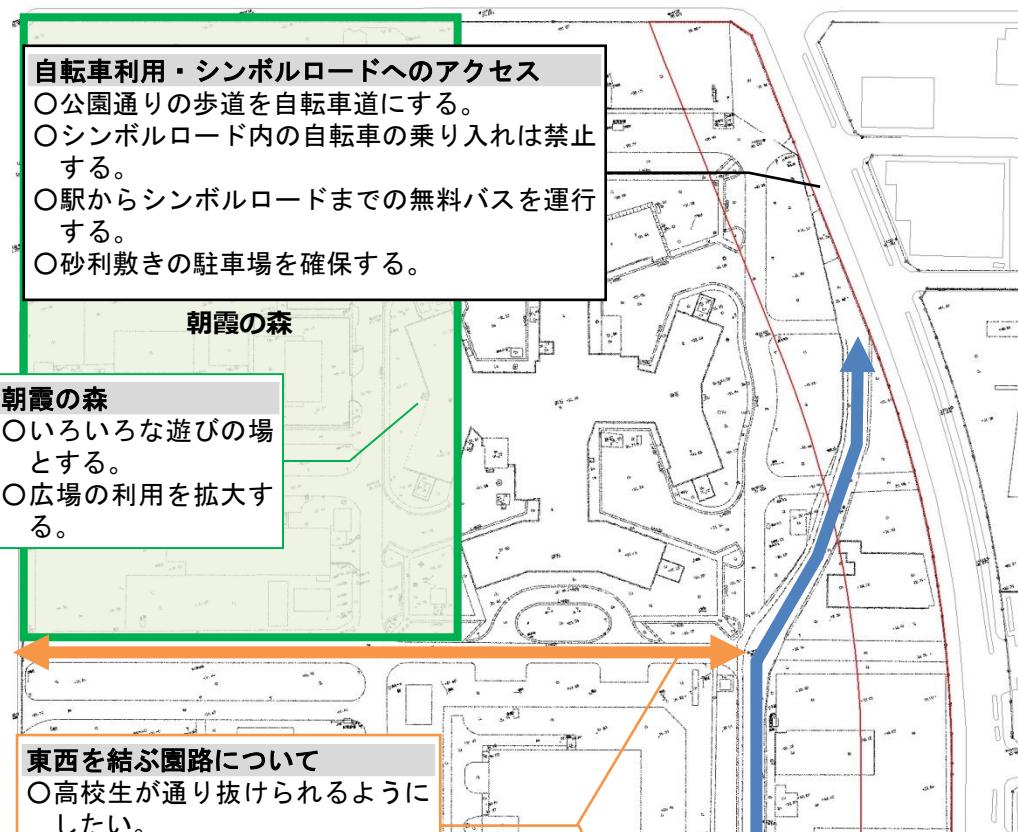
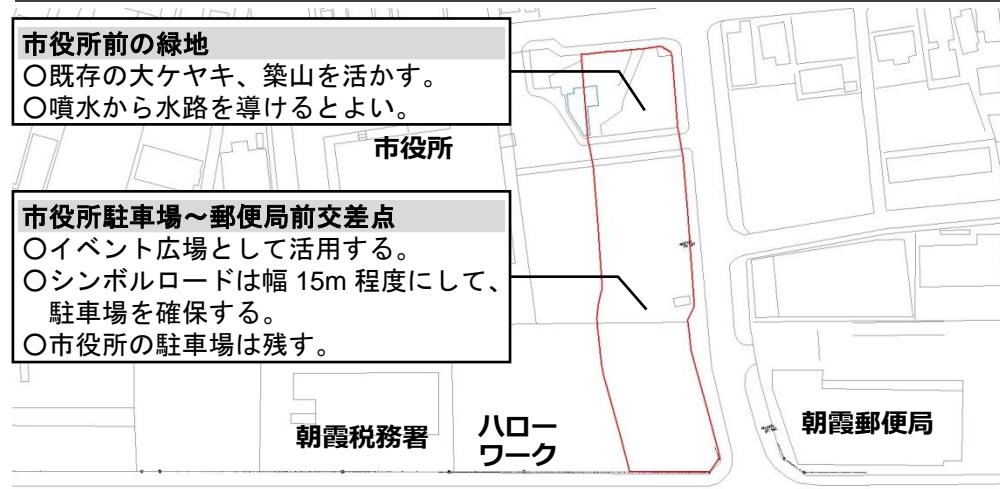


意見交換会における主な意見



10月15日（土）に朝霞市コミュニティセンターにおいて「基地跡地公園・シンボルロード整備基本計画見直しに係る意見交換会」を実施しました。

意見交換会で市民の皆さんと行ったワークショップで寄せられた主なご意見等を取りまとめました。

場所を限定しないご意見等

全体について

- 将来は自然公園としての機能を発揮させる。
- 森は財産、木はブランドである。

樹木の扱いについて

- 植栽について詳しく調べ、残す樹木には赤布などで目立つ印をつける。
- 必要な手入れだけを行い、原則として伐採しない。
- 木漏れ日が入るよ程度に剪定をする。
- 低い下枝を払って見通し、日当たりを確保する。

施設等の整備の考え方

- なるべく施設はつくらず、柔軟な運用ができるようにする。
- コンクリート等の舗装はできるだけ撤去し、必要最小限にする。
- 現在残っている消火栓や木製の電柱などは、移設してモニュメントとして残す。

園路について

- 今ある樹木を活かして、木々の間を縫って歩く遊歩道をつくる。
- 森の中から突然店やベンチが現れるような演出ができるようよい。
- 通りたいと思える道にする。
- 枝道を多くつくる。
- 散歩しやすいようバリアフリーに配慮する。
- 車いすやベビーカーが通りやすいウッドチップ舗装にする。

休養・便益施設について

- ベンチを多く置いて休めるようにする。
- ベビーカーで利用しやすい休憩場所があるよ。
- おもしろいベンチ（戸田委員紹介事例）のアイデアを学生から募集する。
- 水飲み場がほしい。

森をいかしたレクリエーション等

- コウゾ、ミツマタ、ウルシ、香木類等の有用樹種を植栽する。
- 樹木に名札を付ける。
- 気分転換に日光浴や森林浴ができるよ。
- 大きな木でツリークライミングができるよ。
- 木々の間にハンモックを設置したい。
- 屋根のあるベンチやミニ図書館、ミニ植物園等があるよ。
- 緑陰と図書館、ベンチがセットになるとよ。
- 移動図書館、青空図書館があるよ。
- ドイツのブックボックスのようなものを道路沿いにつくれるとよ。
- ボルダリングができるよ。

子どもの遊びについて

- 木登りができる大きな木を残す。
- 小学生向けの基地や長い滑り台をつくる。
- 迷路づくりや迷路遊び、抜け道づくりができるよ。
- 遊び場としての安全性を確保する。

親水空間の確保

- 泥んこ遊びができる水場がほしい。
- せせらぎの小道をつくる。
- 地下水を利用して池ができるよ。

イベント利用等について

- 彩夏祭の控えの場になる空間がほしい。
- イルミネーションを実施したい。

防災・防犯について

- 非常時、災害時用の食糧備蓄庫や炊き出し用具の倉庫を設置する。
- 東園路を災害時の優先道路として位置づける。
- 暗い場所には人は近づかないで、防犯や青少年の深夜のたまり場化防止のために街灯を付けない。
- 太陽光や風力を利用したLED等の照明を付ける。

計画づくりについての考え方

- 市民見学会を実施して現地を確認しながら計画を詰める。
- 朝霞市周辺の大学に参加を呼び掛け、大学生の知恵とエネルギーを活用して市民の力でシンボルロードづくりを進める。
- 戸田委員の基本方針（①コストをかけず全体を整備しオープンする。②大木を残し見通しを良くする。③舗装は木に優しくする。④仕掛けが可能なスペースを作る。⑤固定化せず使いながら整備していく。）を検討委員会で取り入れてほしい。